

第 8 回

ワーク・ライフ・バランス大賞
応募要領

【主 催】

次世代のための民間運動
～ ワーク・ライフ・バランス推進会議 ～

全国生産性機関

日本生産性本部
中部生産性本部
四国生産性本部

北海道生産性本部
関西生産性本部
九州生産性本部

東北生産性本部
中国生産性本部
県生産性本部

ワーク・ライフ・バランスは、子育てや介護に直面している人だけの課題ではなく、豊かな社会生活を送るため、すべての組織、地域や人に関わる大切なテーマです。

このため、ワーク・ライフ・バランス推進会議では、国内外の環境が急速に変化する中、企業や組織が生産性を維持向上させるとともに、働く人の暮らし方を含めた生活の質を高め、安定させるという観点から、ワーク・ライフ・バランスの推進を強く唱えてまいりました。

「ワーク・ライフ・バランス大賞」は、2007年から実施し、優れた独自性ある諸活動、創意工夫、および効果を上げた展開事例を幅広く募り、働き方改革をはじめ、企業や組織における実効性かつ先進性ある取り組みを表彰することで、社会的な普及・啓発を進めてまいりました。今年も第8回として実施し、少子高齢化、グローバル化の進展の中での新しい課題も踏まえ、幅広い観点から、ワーク・ライフ・バランスの一層の推進を目指し表彰を行います。同時にワーク・ライフ・バランス推進の標語を募ります。

多数のご応募を心よりお待ちしております。

募集の対象となるテーマ

1 働き方

人材の多様化に対応し、柔軟な働き方を可能にした事例や生産性向上を目指した業務の見直し、時間外労働の削減などで成果をあげている例

2 経営

ワーク・ライフ・バランス推進を経営方針として位置づけ、経営トップがリーダーシップを発揮して成果をあげている例

3 地域活動

地域活動への社員の参加支援などを行い、地域活性化に貢献・成果をあげている例

4 子育て

育児支援制度や復職支援制度の整備・運用を行い、柔軟な働き方の実現や離職率の低下などの成果をあげている例

5 家庭・家族

家族（子ども・親など）とのコミュニケーションを支援する取り組みを行い、成果をあげている例（家族による職場見学など）

6 介護

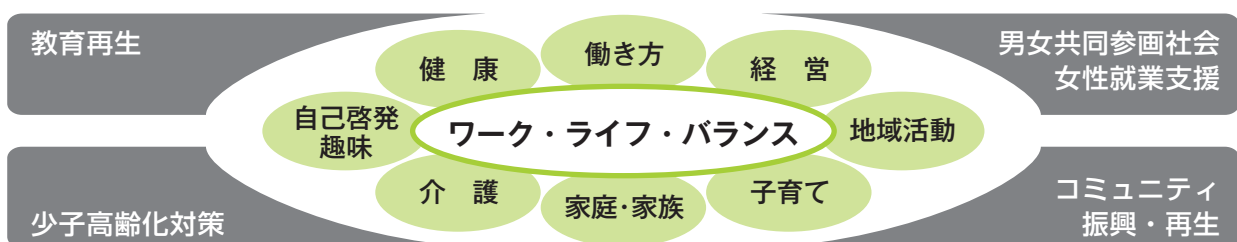
介護を必要とする従業員への支援として、短時間勤務制度や休暇制度の整備・運用の工夫を行い、成果をあげている例

7 自己啓発・趣味

自己啓発を促すため、長期有給休暇、有給休暇、ボランティア休暇などの整備や取得率を高める工夫を行い、成果をあげている例

8 健康

休暇制度の充実や、健康管理、メンタル予防、職場への復帰支援などの整備・運用の工夫を行い、従業員の健康増進に効果をあらわしている例



◆◆◆◆◆ 「次世代のための民間運動 ～ワーク・ライフ・バランス推進会議～」 ◆◆◆◆◆

2006年8月に発足した、産業界労使、学識経験者からなる「ワーク・ライフ・バランス推進会議」は、「働き方」と「暮らし方」双方の改革を図り、「調和のとれた生活」の実現を図る運動を進めています。運動の象徴として、11月23日を「ワーク・ライフ・バランスの日」、「ワーク・ライフ・バランスの日」を中核とする一週間を「ワーク・ライフ・バランス週間」（11月23日（日）～11月29日（土））として提唱し、運動全体の社会的な盛り上がりや定着を図ってまいります。

〈推進委員〉（●は代表幹事）

- 相原 康 伸 全日本自動車産業労働組合総連合会 会長
- 石塚 邦 雄 (株)三越伊勢丹ホールディングス 代表取締役会長執行役員
- 大橋 洋 治 ANAホールディングス(株) 取締役会長
- 鹿嶋 敬 実践女子大学 教授
- 林 文 子 横浜市長

- 江上 節 子 武蔵大学 教授
- 神津里季生 日本労働組合総連合会 事務局長
- 河野真理子 (株)キャリアン 代表取締役
- 清家 篤 慶應義塾大学 教授・塾長
- バク・スックチャ アパシヨナータ Inc. 代表
- 樋口 美 雄 慶應義塾大学 教授

表彰・選考

ワーク・ライフ・バランスの推進において、企業・組織で優れた成果をあげている事例や、地域・社会に大きな貢献を果たしている事例を表彰いたします

1. 表彰 優れた取組み 6件以内

2. 選考の観点 8つのテーマに関し、次のいずれかの観点に該当するものを選考します

(a) 総合的・先進的な取組み

ワーク・ライフ・バランス推進について、幅広い観点に立って総合的かつ先進的な取組みを行い、優れた成果をあげている活動か

(b) 中小企業における独自性ある取組み

中小企業において、自社や地域の特性を活かし、特定のテーマについて、経営者を含め精力的に取り組み、成果をあげている独自性ある活動か

(c) 困難な課題を抱えている業種での取組み

ワーク・ライフ・バランス推進に多くの困難を抱えている業種にあって、課題解決に積極的な取組みを行い、優れた成果をあげている活動か

(d) グローバル展開における取組み

グローバル展開をしている企業において、日本国内だけでなく海外の現地法人においても、ワーク・ライフ・バランスに則った取組みを行い、優れた成果をあげている活動か

(e) 社会的な影響を与えている取組み

自社にとどまらず、取引先など関係方面、あるいは地域のワーク・ライフ・バランス推進に貢献する取組みを行い、優れた成果をあげている活動か

3. アピールポイント

(1) 上記「2. 選考の観点」(a) (b) (c) (d) の応募の場合

次の①～④がポイントとなりますので、具体的にご記入ください

- ① 貴組織のワーク・ライフ・バランス推進のための課題はどのような内容で、その課題を解決することにより、実現しようとした具体的な目標はどのような内容だったか
- ② ワーク・ライフ・バランスの課題解決に向け、経営トップは具体的にどのようなリーダーシップの発揮や取組みを行ったか
- ③ 従業員の働きがいや働きやすさを高めるため、どのような取組みが有効だったか
- ④ その取組みにより、顧客満足や業績あるいは生産性の向上など、どのような成果が現れたか

(2) 上記「2. 選考の観点」(e) の応募の場合

活動の効果が特定の対象に限定されず、その取組みが他の組織においても模範となるなど、社会への波及効果が期待されるかがポイントとなりますので、具体的にご記入ください

4. 表彰式 2014年11月10日(月)開催の「ワーク・ライフ・バランス・コンファレンス」において、表彰します 受賞された場合、コンファレンスで行われる表彰式への出席をお願いいたします

◆受賞の特典◆

- ・賞状及び副賞を授与いたします
- ・本推進会議のホームページ (URL: <http://www.jisedainet/>) などで受賞を告知いたします
- ・受賞者のホームページなどで広報することができます

5. その他 希望される組織にはコメントをフィードバックいたします。その際、応募申込書1の希望欄に ○印をご記入ください

…………… **同時に** ワーク・ライフ・バランス推進「標語」の募集 ……………

詳しくは裏面の応募要領をご覧ください

応募方法

1. 応募の締め切り：2014年9月5日（金）【必着】

2. 応募方法

- (1) 応募申込書（ワード形式）を本推進会議のホームページ（URL：<http://www.jisedai.net/>）からダウンロードし、必要事項をご記入の上、Word ファイルのまま、電子メールにて下記事務局宛にご送付ください（必須）

〈応募申込書〉

「応募申込書1」、「応募申込書2」各1部

- (2) 会社案内を郵送にてご送付ください（必須）
- (3) 参考資料があればご送付ください

3. その他

- (1) 選考に際し追加資料などのご提出やご照会をお願いすることもありますのであらかじめご了承ください
- (2) 選考結果は、最終審査後すみやかにご連絡いたします
- (3) 応募申込書記載の「個人情報取扱について」にご同意のうえご応募ください
- (4) 他の組織を推薦する場合は組織名・連絡先などを下記事務局までご連絡ください。事務局より被推薦組織に連絡します

2012年 第6回「ワーク・ライフ・バランス大賞」受賞者

詳細および過去の受賞者等は、下記ホームページ参照

	組織名	取組みの主なポイント
大賞	(株)アイエスエフネット	就職困難者も積極的に採用し、全員が各自の強みを活かせる就労環境を整備
優秀賞	第一生命保険(株)	業務見直しで生産性向上の取組みを強力に進め、全社的に運動を推進
	東日本旅客鉄道(株)	誰もが活躍できる組織を目指し、女性活躍を促す両立支援策の深化
	医療法人寿芳会芳野病院	現場での業務改善の工夫と多様なシフト勤務により、マンパワー不足に対応
	(株)JR東日本リテールネット	非正社員も含めて利用できる制度を導入し、制度周知を徹底して利用促進
	TOTO(株)	生活者視点を持てるよう労働時間見直しで意識改善し、社会貢献活動も増加
奨励賞	(株)クエスト・コンピュータ	テレワークにより通勤負担を削減し、社員の帰属意識の向上と創造性の拡大

入選標語 ○働き方を見直して 未来の自分へ自己投資 ○仕事の時間と家庭の時間 どちらも大事な"あなた"の時間 ○時間は見えない宝物 メリハリつけて大切に

2013年 第7回「ワーク・ライフ・バランス大賞」受賞者

	組織名	取組みの主なポイント
優秀賞	住友生命保険(株)	全役員が全国に出向く「対話ミーティング」と、子育て支援表彰による社会貢献
	(株)百五銀行	トップによる直接対話の実施と、申告制度の導入により時間外労働を削減
	(株)PFU	「仕事と家庭の両立支援」労使協議会の設置と、地域の子育て環境構築を支援
	藤田保健衛生大学病院 看護部	「夜勤専従者」制度の導入等の多様な勤務体制の整備と、看護業務の軽減
	ブラザー販売(株)	職場ごとの具体的なアクションプラン設定とチーム・個人の表彰制度の設置
奨励賞	セントワークス(株)	各部署でチーム目標と個人目標を設定し、全社で取り組み状況と課題を共有

入選標語 ○自分時間 働く為のエネルギー ○奏でよう オンとオフのハーモニー ○ひとりひとりの働き方 認めて高めるチーム力 ○書類より 家族をとなりに 晩ごはん

ワーク・ライフ・バランス推進に役立つような標語を同時に募集します

標語応募要領

～優秀作品は表彰し、ホームページに作品を掲載～

1. 作者本人からの応募を基本とし、1人1件までとします。組織内でまとめてご送付いただいても結構です
2. 応募申込書は、下記推進会議のホームページからダウンロードし、必要事項をご記入ください
3. 郵送、電子メール、あるいはFAXにて下記事務局宛、2014年9月5日（金）【必着】までにご応募ください

お問い合わせ先

「次世代のための民間運動 ～ワーク・ライフ・バランス推進会議～」

【事務局】 公益財団法人 日本生産性本部 ワークライフ部 (担当：笹・松永)

〒150-8307 東京都渋谷区渋谷3-1-1

電話：03-3409-1122 FAX：03-3409-1007

URL：<http://www.jisedai.net/> E-mail：jisedai@jpc-net.jp